

1. 年次縦断プロジェクト（概要）

年次縦断プロジェクトとは、基礎プロジェクト、開発型プロジェクト科目を補完する新たな学習スタイルです。基礎プロジェクト、開発型プロジェクトは3年次、4年次が履修推奨ですが、年次縦断プロジェクトは学年次縦断で行う継続型の活動となります。年次縦断プロジェクトは学生自身がチームを立ち上げることができます。ただし、プロジェクト・マネージャとして教員の参加が義務付けられています。もちろん、教員が立ち上げる年次縦断プロジェクトもあります。また、年次縦断プロジェクトは、リーダー（学生）が必須で、リーダーを中心に活動を行わなければなりません。以下は各プロジェクト科目と年次縦断プロジェクト関係の模式図です。

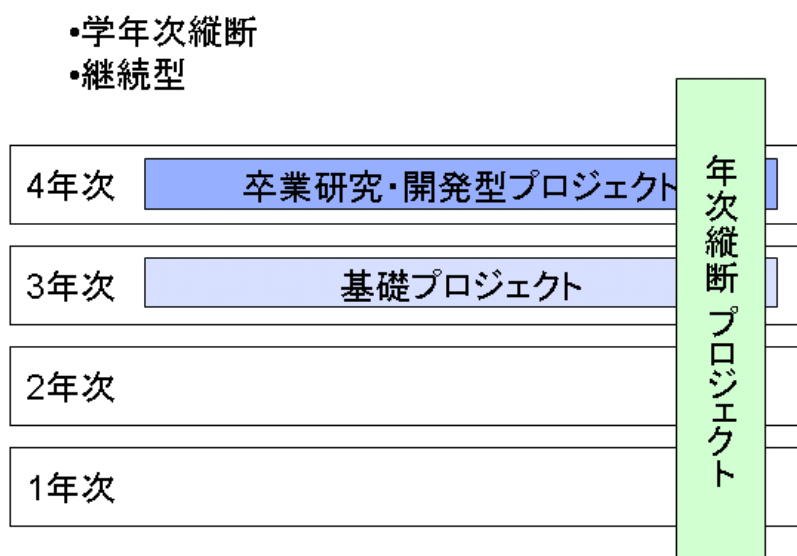


図 1

年次縦断プロジェクトは、チームで、あるテーマを達成するときの種々の問題を実際に行うことにより、コミュニケーション能力、技術力、応用力、創造力、問題解決能力などを育成し、学年次間の交流の場を形成することが目的です。また、近年、注目されている社会人基礎能力が入学時から卒業までに自然に学習されることも目的としています。

学習スタイルは、年次縦断プロジェクトに参加（新たにプロジェクトの立ち上げ）することになります。具体的には、そのプロジェクトで1セメスターに15時間から25時間の活動報告が必要になります。以下の例のように、各年次により活動内容が違います。

- ◆ 1年次：年次縦断プロジェクトに参加し先輩の活動を見学する。
- ◆ 2年次：年次縦断プロジェクトに参加し基礎的な学習を行う。
- ◆ 3年次：年次縦断プロジェクトで参加し積極的に役割を担う。
- ◆ 4年次：年次縦断プロジェクトの中心的な役割を担う。

2. 年次縦断プロジェクト活動（流れ）

年次縦断プロジェクト活動には

1. 年次縦断プロジェクトの結成（継続）
2. 年次縦断プロジェクトへの参加
3. 年次縦断型 PBL 科目の履修（予定）

があります。これらは別々に行わなければなりません。ただし、年次縦断プロジェクトの結成（継続）は必要な場合のみ行ってください。また、年次縦断プロジェクトへの参加のみの場合には他を行う必要はありません。

年次縦断プロジェクトの結成（継続）

年次縦断プロジェクトの結成（継続）届け（様式1）の提出

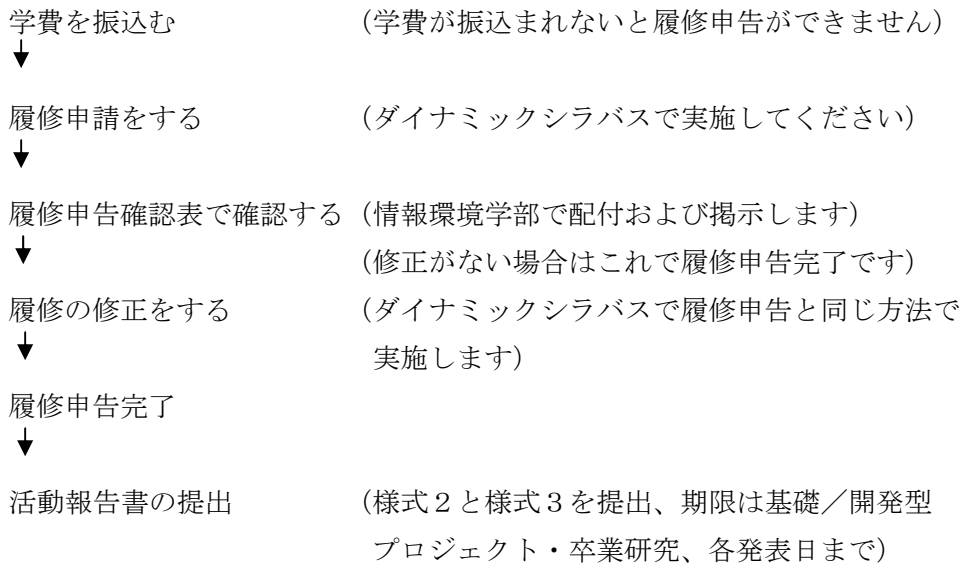
- ◆ 各 Semester 開始から履修申請終了までに提出
- ◆ プロジェクト・マネージャー（教員）、プロジェクト・リーダー（学生）が必要
- ◆ 学生が3名以上であれば全てのメンバーの記載は必要なく、主要メンバー3名（プロジェクト・リーダーを含む）以上で可能
- ◆ 年次縦断プロジェクトの掲示板にプロジェクト・メンバー募集の掲載可能

年次縦断プロジェクトへの参加

各自、参加したい各年次縦断プロジェクトの同意を得て参加

- ◆ 何時でも、各プロジェクトの同意があれば参加可能
- ◆ 年次縦断プロジェクトの掲示板などで情報収集
- ◆ 自ら年次縦断プロジェクトの立ち上げ

年次縦断型 PBL 科目の履修（予定）と単位取得



- ※ 活動報告書に参加報告できる年次縦断プロジェクトは各 Semester で年次縦断プロジェクトの結成（継続）届けが提出されているものです。
- ※ この科目（1 単位）の評点は活動時間×4 点（最高点：100 点）となります。例えば、15 時間活動すると $15 \times 4 = 60$ 点となります。また、活動報告書が提出期限までに提出されていない場合は 0 点となります。
- ※ 履修申請を行ったが、年次縦断プロジェクトへの参加が無い場合には評点は 0 点となります。また、下記の項目を満たしていない場合にも評点は 0 点となります。
- ※ 卒業研究／開発型プロジェクトの着手条件を満たしている場合には卒業研究／開発型プロジェクトと同時履修になります。
- ※ 卒業研究／開発型プロジェクトの着手条件を満たしていない場合で 70 単位以上を修得している場合には他プロジェクト科目等との同時履修になります。